

## (8) 軟式野球競技 (学童)

### 開催要項 (案)

1. 主 催 盛岡市・盛岡市教育委員会・(公財)盛岡市スポーツ協会
2. 主 管 第 77 回盛岡市民スポーツ大会実行委員会  
盛岡市野球協会・盛岡市スポーツ少年団野球連盟
3. 会 期 令和 7 年 5 月 3 日・4 日・5 日、10 日、11 日
4. 会 場 いわてボールパーク、盛岡市学童専用球場
5. 参加資格 1) 盛岡市内の小学生で構成されたチームであること。  
2) チーム編成は、監督・主将を含む 10 名以上 25 名以内であること。
6. 参加申込 参加チームは、所定の参加申込書を提出のこと。
7. 参 加 料 参加料として 1 チーム 8,000 円を組合せ抽選会当日に納入のこと。
8. 組合抽選 令和 7 年 4 月上旬
9. 監督会議 組合せ抽選会終了後、監督会議を行います。
10. 試合方法 1) トーナメントとし、全試合 6 回戦とする。  
2) コールドゲームは、4 回以降 10 点差、5 回以降 7 点差とする。  
3) 延長戦は、タイブレーク方式とし、無死一・二塁から 2 イニング行い  
勝敗を決する。同点の場合は抽選を行う。  
4) タイブレーク方式は、全軟連特別規則による。  
決勝戦は適用しない。  
5) 指名打者制を採用できる。ただし、「大谷ルール」適用しない。
11. 適用規則 1) 2025 年公認野球規則を適用する。  
2) 大会規則は、全日本軟式野球連盟規程を準用する。
12. 使 用 球 全日本軟式野球連盟公認球 ナガセケンコーボール J 号を使用する。
13. 表 彰 優勝・準優勝・3 位のチームを表彰する。
14. その他 無断で大会を欠場した場合は、次年度のチーム出場を停止する。

## 競技運営に関する注意事項

1 盛岡市野球協会は主催、主管する大会に関連するあらゆる事故、怪我等には一切責任を持ちません。

盛岡市野球協会は運営に関連する保険加入はしていないので、補償は一切できません。

2 チームの保険加入は各チームの判断とします。市スポーツ協会では関連保険を取り扱っています。

\*大会参加にあたっては、その関連も含めチームが一切の責任をもって対処してください。

3 大会の案内には、参加、不参加によらず必ず返事のこと。無回答には参加料を徴収することがあります。

4 野球ねっとでの登録者の年度内異動は一切認めない。登録抹消をした同チームへの再登録は可能です。

5 一度納入された登録料、参加料等はいっさい返還しません。

6 組合せ抽選会は事務局において実施しますが、結果に関しては責任を持ちません。

7 大会は本年度に有効な公認野球規則、競技者必携、本注意事項により運営しますが、当該大会の注意確認事項が優先します。これら規定でのチームの不利益はいっさい考慮しません。

8 試合日時、球場、開始時刻は、悪天時や運営の都合で適宜変更となります。

雨天等で日程等変更あるときは協会事務局からチーム連絡責任者に原則として電話で連絡します。

悪天でも試合をすることがあるので、チームの責任者が必ず試合の実施を確認ください。

\*マナーをわきまえたプレイ、ムダな時間を使わないでスピードアップで試合を進めましょう。

\*攻守交代時は素早く、走って守備につきましょう。試合の時間制限(1 試合 1 時間 45 分)があります。

9 試合開始予定時刻の 30 分前までには必ずチームとして集合してしてください。

10 打順表交換は試合開始予定時刻の 30 分前か前試合の 4 回終了のいずれか早い方に行います。間に合うように打順表を作成ください。

\*運営本部からの打順表交換招集から 10 分遅れた場合は棄権となる場合があります。

\*打順表を大会本部に渡したときにその試合の「チームの確定」となり、以後の変更はできません。

\*1 試合の選手登録は監督を含み最大 25 人までです。

\*打順表に記載されない選手は年度登録されていても試合には出場できません。(不正出場になります)

\* 打順表には登録選手の姓名を必ず記入、守備位置の重複、背番号をよく確認してから提出ください。

\* 打順表提出時に不在でもその試合に参加予定の選手は打順表に記載（△印を背番号欄に付加）ください。

この場合、記載選手が会場到着時に事務局が確認し、相手チームに通告してから出場できます。

\* 指名打者制を採用することができる。ただし、「大谷ルール」は採用できない。

11 監督 30 と主将 10 の背番号は年度登録時の個人に固定であり、それ以外はその背番号を着用できません。

\* 監督が不在なときは打順表交換時に代行者を必ず指名ください。（◎を背番号欄に付加）

本部、審判に選手交代通告等ができるのは、監督または正規の代行者だけのためです。

12 次試合チームの投球練習場使用は打順表交換後とし、記載された先発バッテリーだけとします。（厳守）

試合中のチームに使用優先権があるのでその了解を得てから使用してください。

\* 投球練習場では投球練習のみができます。遠投、ゴロ投げ等はできません。

\* 試合中や投球練習場の捕手（控え捕手含む）は必ずヘルメット、レガード、プロテクター、マスク、ファウルカップを装着してください。無装具の場合は立ったまま捕球します。

\* 試合中、ベンチ前の投球練習やキャッチボールは禁止とします。

13 試合は予定時刻より 30 分以上早めて開始することはありません。ただし当該両チーム了解時は除きます。

14 盛岡市予選大会の全試合は 7 イニング制です。試合時間は 1 時間 30 分以内を目指しています。

\* 試合開始後、1 時間 45 分経過以降は、均等回完了をもって終了とする。（1 時間 45 分経過し、後攻チームが勝っている場合は、打撃完了と同時に試合終了とする。）

15 点差によるコールドゲームは 4 回 10 点差、5 回 7 点差とします。

16 試合の成立は 5 回完了又は、時間制限での試合終了（5 回表が終了、又は、1 時間 45 分経過後に後攻チームが勝っている場合も含む）の場合とする。

17 延長戦はタイブレーク方式とし、無死一・二塁から制限時間内であれば最大 2 イニング行い勝敗を決する。同点の場合は抽選とする。ただし、代表決定戦、決勝戦については、勝敗が決するまで行う。

18 攻守交代時はボールを投手板においてください。

\* 捕手が防具の準備中は代わりの捕手をすぐに出すこと。防具の無装着の場合は立ったまま捕球すること。

\* イニング前の練習投球数を当協会では球審がその都度指示します。

19 ロジンバッグは手で持ち上げることなく、ロジンバッグを動かさずに指に触れるだけにしてください。

雨天時（ロジンバッグをポケットに入れる指示があるとき）を除きます。

20 試合中、グラウンド内では、フード付きの上着の着用を禁じる。

21 試合中はグラウンド上から全用具をベンチ内にしまってください。

＊グラウンドにはバットリング、カネの棒は持ち込んではなりません。

＊コーチスボックスにはグラブなど「もの」を持っていかないでください。

22 監督、コーチ、選手等は規則によるもののほか、試合中はベンチ内にいて自由勝手に出入りしないこと。（退場対象）

定められた以外の人がベンチに入るときは、主催者の許可を必要とします。

23 ベンチ内での水分補給を除き飲食（弁当など）、携帯電話の使用はできません。

24 今大会の投球制限は、1日70球（4年生以下は60球）とする。（1週間で300球以内）

※控えて、カウントしますので、試合終了後、監督と投球数を確認してください。

25 打者・走者・ベースコーチはヘルメットを必ず着用してください。

26 ベースコーチは試合を停滞させないように、交替になったらすぐに位置に入ってください。

27 次打者席へは、ヘルメットを着用し、投手でも必ず入ってってください。

28 ユニフォームは統一を厳守です。違っているときは試合には出場できません。

29 試合執行のため雨天時は水取り等整備にも協力を願います。

30 試合終了後から10分以内に両チーム全員はグラウンド整備（トンボかけ、ブラシ）を行ってください。

試合終了時のバッテリーはクールダウンのために参加しなくてもいいです。

31 盛岡市予選大会の「退場」宣告は規則通りに適用します。

後刻、市協会または県協会から処分が通告されます。

当該選手は処分通告があるまでは次試合以降の出場ができます。

32 選手の追加登録は、原則、試合の前日までに野球ねっとにより登録・申請を行うこと。

33 棄権の申し出は速やかに連絡ください。また、その申し出の取消しはできません。

34 ヘルメット、マスク、金属バットは、SGマーク、JSBBマーク（JSBB,JSA 併記は可）の付いた用具を必ず使用すること。

35 捕手のプロテクター、レガースは、JSBBマーク（JSBB,JSA 併記は可）の付いた用具を必ず使用すること。

36 （投手の12・20秒ルール）投手は、捕手、その他の内野手または審判員からボールを受け取り打者に面した後、走者がいない場合には12秒以内、走者がいる場合には20秒以内に投球動作をしなければならない。違反した場合は、球審はただちにボールを宣告する。

37 （バッタースボックスルール・アマチュア内規）

（1）打者は打撃姿勢をとった後は、次の場合を除き、少なくとも一方の足をバッタース

ボックス内に置いていなければならない。この場合は、打者はバッタースボックスを離れてもよいが、“ホームプレート周囲土の部分”を出てはならない。

- 1) 打者が投球に対してバットを振った場合。
- 2) チェックスイングが塁審にリクエストされた場合。
- 3) 打者が投球を避けてバランスを崩すか、バッタースボックスの外に出ざるを得なかった場合。
- 4) いずれかのチームのメンバーが“タイム”を要求し認められた場合。
- 5) 守備側のプレーヤーがいずれかの塁で走者に対するプレイを企てた場合。
- 6) 打者がバントをするふりをした場合。
- 7) 暴投または捕逸が発生した場合。
- 8) 投手がボールを受け取った後マウンドの土の部分離れた場合。
- 9) 捕手が守備のためのシグナルを送るためキャッチャースボックスを離れた場合。

(2) 打者は、次の目的で“タイム”が宣告されたときは、バッタースボックスおよび“ホームプレート周囲土の部分”を離れることができる。

- 1) 負傷または負傷の可能性がある場合。
- 2) プレーヤーの交代
- 3) いずれかのチームの協議

なお、審判員は、前の打者が塁に出るかまたはアウトになれば、速やかにバッタースボックスに入るよう次打者に促さねばならない。

ペナルティ (1)・(2)

打者が意図的にバッタースボックスを離れてプレイを遅らせ、かつ(1)の1)～9)の例外規定に該当しない場合、または、打者が意図的に“ホームプレート周囲土の部分”を離れてプレイを遅らせ、かつ(2)の1)～3)の例外規定に該当しない場合、球審は、その試合で2度目までの違反に対しては警告を与え、3度目からは投手の投球を待たずにストライクを宣告する。この場合はボールデッドである。

もし打者がバッタースボックスまたは“ホームプレート周囲土の部分”の外にとどまり、さらにプレイを遅延させた場合、球審は投手の投球を待たず、再びストライクを宣告する。

なお、球審は、再びストライクを宣告するまでに、打者が正しい姿勢をとるための適宜な時間を認める。(規則 5.04 b(4)(A)、同(B))

- 38 攻守交代の際に、控え選手がベンチを出て守備練習を見守ることを禁止する。
- 39 打者が投げ終わった球種を、次打者に知らせることを禁止する。
- 40 投手が投手板に触れて投球位置についたら、投手の動揺を誘うような大きな声を発することを禁止する。
- 41 ベンチ内の大人が、いかなる状況があっても、選手を委縮させるような言動を禁止する。

- 42 シートロックは、行わない。
- 43 各チームからボールパーソンのご協力をお願いします。また、各チームベンチ側のファウルボールへのご対応につきまして、協力よろしくお願いします。
- 44 帯同審判は、必須となりますので、各チーム審判員の育成にご協力をお願いします。
- 45 アナウンスを採用しますので、対戦チームそれぞれから出していただき、自チームの攻撃の際に、アナウンスをお願いします。
- 46 各球場敷地内は全面禁煙です。(厳守)
- 47 ゴミは全て持ち帰ってください。(厳守)